

上海モーターショー2019: ヴァレオ、電動化、自動運転、コネクティビティという 明日のモビリティに向けた最新イノベーションを披露

2019年4月15日上海発表 – ヴァレオは上海モーターショー2019で、モビリティ革命の中心となる、最新のイノベーションの数々を公開します。

ヴァレオは、さまざまなモビリティのニーズとユースに対応する電動化ソリューションの一例として、48Vの都市向けフルEVの試作車を出展します。この車両は、完全に実用レベルの2シーターのEVで、最高時速100km/h、航続距離は150kmです。どの電源ソケットからも充電可能であり、これからの都市におけるモビリティに最適な、廉価でコンパクトな車はかくあるべきだというアイデアを呈示しています。また、ヴァレオは上海モーターショーで初めてリバーシブルチャージャーを搭載してパワーグリッドと車を接続する画期的なテクノロジーを公開します。このシステムにより、余剰電力を電力網に戻すことができます。

車両の電動化はパワートレインにとどまりません。ヴァレオは全天候であらゆる季節に対応し、航続距離を最適化するEV向けのサーマル・コンフォート・ソリューションを提案します。また、ヴァレオブースでは、大気汚染を検知し、車室内をクリーンに保つさまざまなソリューションをデモカーで実演します。

自動運転車とコネクテッドカーの登場をリードしていこうとする中国は、2020年には新車の半数に、半自動走行システムを搭載するという意欲的なロードマップを発表しました。これらのシステムには、さまざまな種類のセンサーを搭載され、車両は周辺の状態を把握することができます。上海モーターショーに、ヴァレオは業界随一の幅広いセンサーポートフォリオを展示します。この中には、ヴァレオが最初に自動車に投入し、業界で唯一の乗用車用レーザースキャナーであるヴァレオ SCALA®と、Valeo everViewなどのセンサークリーニングソリューションが含まれています。

自動車部品サプライヤーであるヴァレオは、世界の全自動車メーカーのパートナーです。高い技術力を持つヴァレオは、CO₂排出量の削減と直観的なドライビングの発展に貢献する革新的な製品とシステムを提供します。2018年度のヴァレオグループの売上高は193億ユーロであり、OEM売上の13%を研究開発に投資しました。ヴァレオは、33カ国に186カ所の工場、21カ所の研究センター、38カ所の開発センター、15カ所の物流センターを構え、約113,600人の従業員を擁しています(2018年12月31日現在)。ヴァレオはパリ証券取引所に上場しており、CAC40指数に採用されています。

本件に関するお問合せ先:

株式会社ヴァレオジャパン 〒151-0062 東京都渋谷区元代々木町30-13

ONEST 元代々木スクエア7階

Tel: 03-5465-5710 (代表) Fax: 03-5465-5720

WEBサイト: <http://www.valeo.co.jp/>

E-mail: jp-communication.mailbox@valeo.com